

よしのせがわ
吉野瀬川ダム事業検証に関する検討

概要資料

平成 23 年 9 月

福 井 県

目 次

1. 吉野瀬川流域及び河川の概要	1
2. 吉野瀬川ダム概要	4
3. 吉野瀬川ダム事業の点検の結果	5
4. 目的別対策案の立案の考え方とそれぞれの対策案の概要	6
①治水対策案	6
②流水の正常な機能の維持対策案	10
5. 吉野瀬川ダムの総合的な評価	13
6. 検討の場の開催状況、パブコメ・意見聴取の実施状況、それぞれの概要	13
7. 対応方針	14

1. 吉野瀬川流域及び河川の概要

①流域の概要

吉野瀬川は、福井県越前市の矢良巢岳(標高472m)に源を発し、山間部を北流し、当ヶ峰川、大虫川等の支川をあわせて日野川に合流する流域面積59.0km²、幹川流路延長18.0kmの一級河川であり、下流域の平地には越前市の中心市街地が広がっている。



図-1 福井県位置図



写真-1 吉野瀬川上流部の状況



写真-2 吉野瀬川中流部の状況



写真-3 吉野瀬川中流部の状況

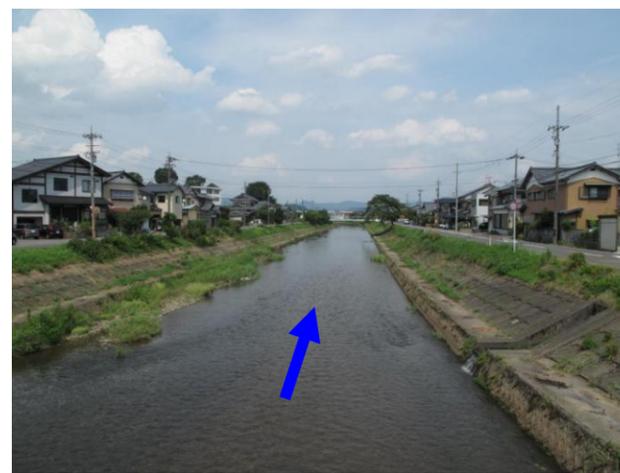


写真-4 吉野瀬川下流部の状況

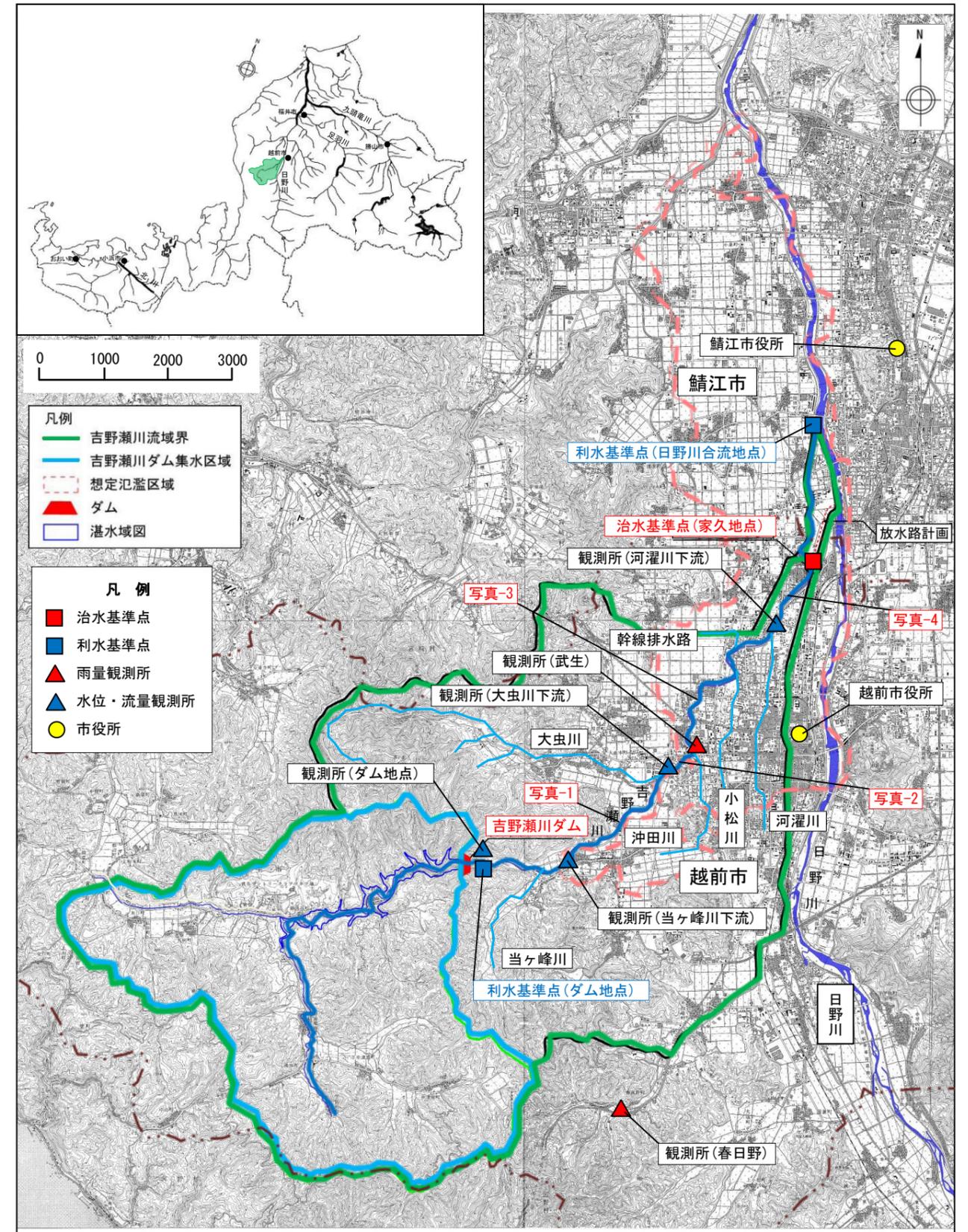


図-2 吉野瀬川流域図

②過去の主な洪水

吉野瀬川流域では、昭和40年9月の台風をはじめとして、これまでに多くの水害に見舞われている。近年では平成10年9月に14戸の浸水被害を受けている。

表-1 吉野瀬川流域の主な洪水被害状況

発生年月日	(原因)	日雨量(mm/日)			被害の状況	被害額 (百万円)	出典
		武生 観測所	春日野 観測所	流域平均			
S40.9	(台風)	182	183	182	浸水家屋1,800戸, 田畑冠水310ha, 公共土木施設被害	1,140.7	福井県土木史 ^{※2}
S56.6~7	(梅雨)	102	42	68	田畑冠水17.5ha, 公共土木施設被害	75.8	水害統計
S62.5	(豪雨)	54	95	77	公共土木施設等被害	55.0	水害統計
S63.6	(梅雨)	83	85	84	公共土木施設等被害	29.2	水害統計
H元.6~7	(梅雨)	-	58	(58) ^{※1}	公共土木施設被害	60.8	水害統計
H2.9	(台風)	-	54	(54) ^{※1}	公共土木施設被害	31.1	水害統計
H7.7	(豪雨)	-	64	(64) ^{※1}	公共土木施設被害	69.1	水害統計
H8.6	(梅雨)	87	93	90	公共土木施設被害	47.1	水害統計
H10.9	(台風)	-	130	(130) ^{※1}	浸水戸数14戸, 宅地浸水面積1,500m ² , 公共土木施設被害	62.2	水害統計
H16.10	(台風)	162	131	145	2,291世帯の7,029人に避難勧告, 田畑冠水被害0.4ha, 公共土木施設被害	24.5	水害統計 越前市開取り
H18.6~7	(梅雨)	154	-	(154) ^{※1}	3,713世帯の10,994人に避難勧告, 田畑等冠水被害2.0ha, 公共土木施設被害	121.0	水害統計 越前市開取り

※1 両観測所(武生、春日野)のうち片方が未測定のため、測定値のある観測所の値を示している。

※2 土砂災害を含む。



写真-5 H18.6~7 (梅雨) 水位状況 (越前市家久地区)



写真-6 H18.6~7 (梅雨) 冠水状況 (越前市家久地区)

③過去の主な渇水

吉野瀬川流域における過去の主な渇水については、深刻な水不足となった昭和52、昭和57のほか、近年では平成6年、平成12年に干ばつ被害などの渇水被害が発生している。



写真-7 H6.8渇水状況 (越前市広瀬地区)

[新聞記事]

図 H6渇水状況 (越前市周辺)

[新聞記事]

図 H12渇水状況 (越前市周辺)

④治水事業の沿革

吉野瀬川では、昭和初期より改修工事等の治水事業が行われ治水安全度の向上が図られてきたが、上下流一定計画での河川改修は実施されておらず局部的改修に留まっていたことから、洪水被害が頻発する状況が続いていた。その一方で、区画整理事業、圃場整備事業等の流域開発が進んだことから、治水対策の実施が重要な課題となっていた。吉野瀬川における治水事業の沿革を以下に整理する。

- ・昭和57年：中小河川改修事業
- ・平成 3年：吉野瀬川ダム建設事業採択
- ・平成 5年：吉野瀬川ダム全体計画認可（変更：平成21年8月）
- ・平成 9年：吉野瀬川全体計画認可
- ・平成18年：吉野瀬川を含む九頭竜川水系河川整備基本方針策定
- ・平成19年：九頭竜川水系河川整備計画策定（変更：平成21年8月）

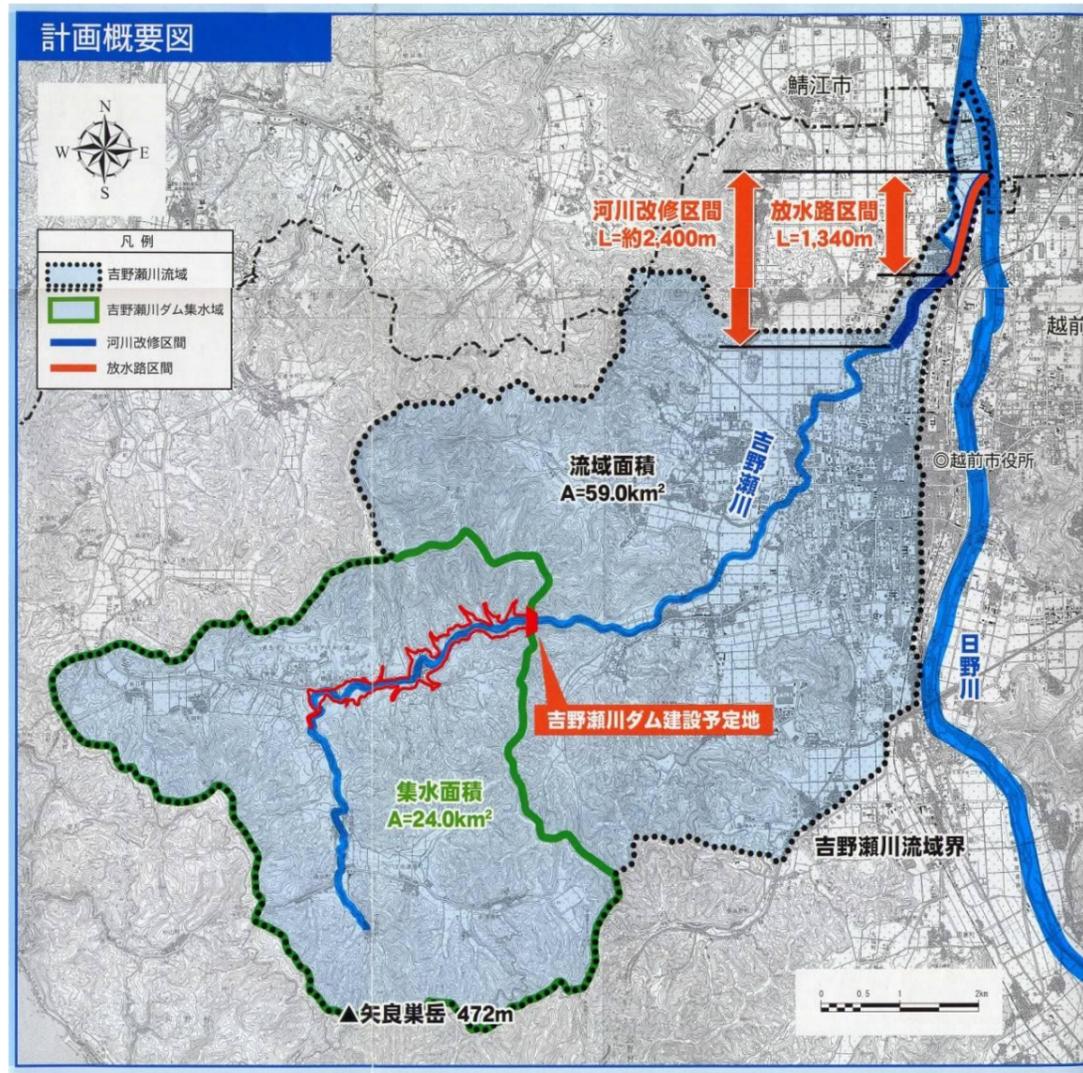


図-3 河川整備計画（吉野瀬川）概要図

⑤河川整備計画

九頭竜川水系日野川ブロック河川整備計画（吉野瀬川抜粋）

【河川工事の目的】

概ね30年に1回程度の確率で発生する降雨による洪水を安全に流下させ、沿川の家屋や公共施設等の浸水を防止するため、吉野瀬川下流部に放水路を新設するとともに、上流部にダムを建設する。

概ね10年に1回程度の確率で発生する渇水に対して、流水の正常な機能を維持するために必要な流量（ダム地点で最大0.28m³/s、最下流地点で最大0.22m³/s）を確保する。

【計画対象期間】

概ね30年とする。

【計画対象区間】

吉野瀬川：2,400m区間（越前市家久町地先～芝原1丁目地先）

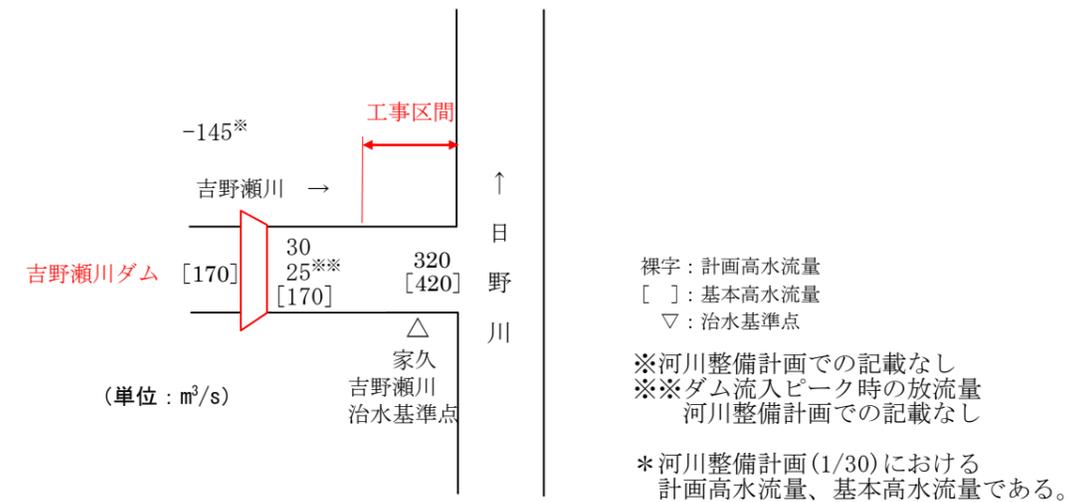


図-4 吉野瀬川流量配分図

⑥吉野瀬川の整備状況

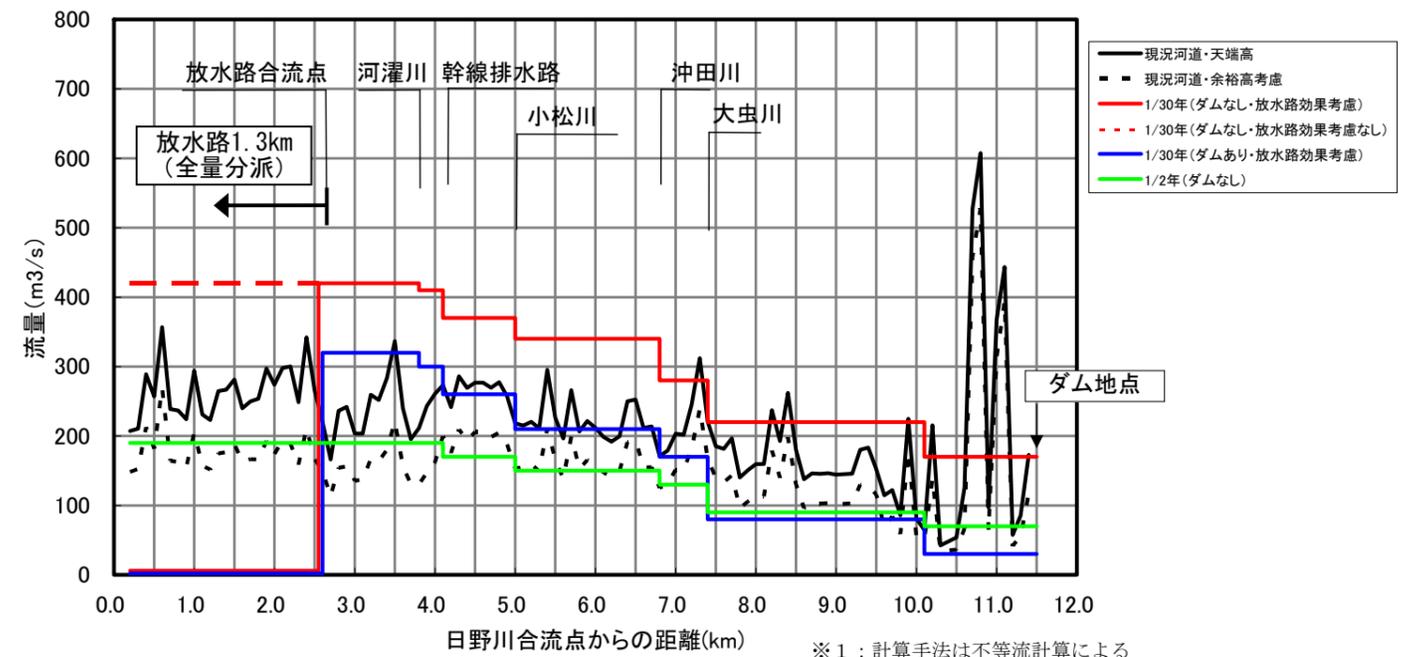


図-5 吉野瀬川流下能力図

- ※1：計算手法は不等流計算による
- ※2：現況流下能力は左右岸のうち小さいものを示している
- ※3：放水路合流点より下流側については、全流量を放水路に流す計画であるため、現河道の流量はゼロとなる

2. 吉野瀬川ダムの概要

①吉野瀬川ダムの目的

(1)洪水調節

ダム地点における計画高水流量200m³/sのうち、175m³/sの洪水調節を行う。

(2)流水の正常な機能の維持

吉野瀬川沿岸の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持をはかる。

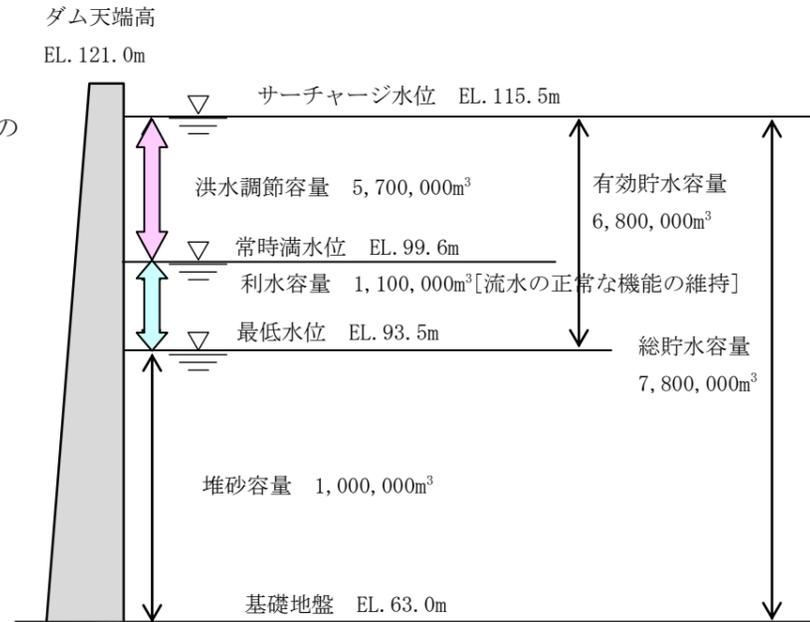


図-6 吉野瀬川ダム容量配分図

②吉野瀬川ダムの位置

- 河川名：九頭竜川水系吉野瀬川
- 位置：右岸：福井県越前市広瀬
183字木野境地先
左岸：福井県越前市広瀬
186字岩谷地先

③吉野瀬川ダムの諸元等

- 全体事業費：約325億円
- 工期：平成30年度完成予定
- ダム諸元
 - 型式：重力式コンクリート
 - 堤高：58.0m
 - 堤頂長：184.0m
 - 総貯水容量：7,800,000m³
 - 湛水面積：0.51km²
 - 集水面積：24.0km²

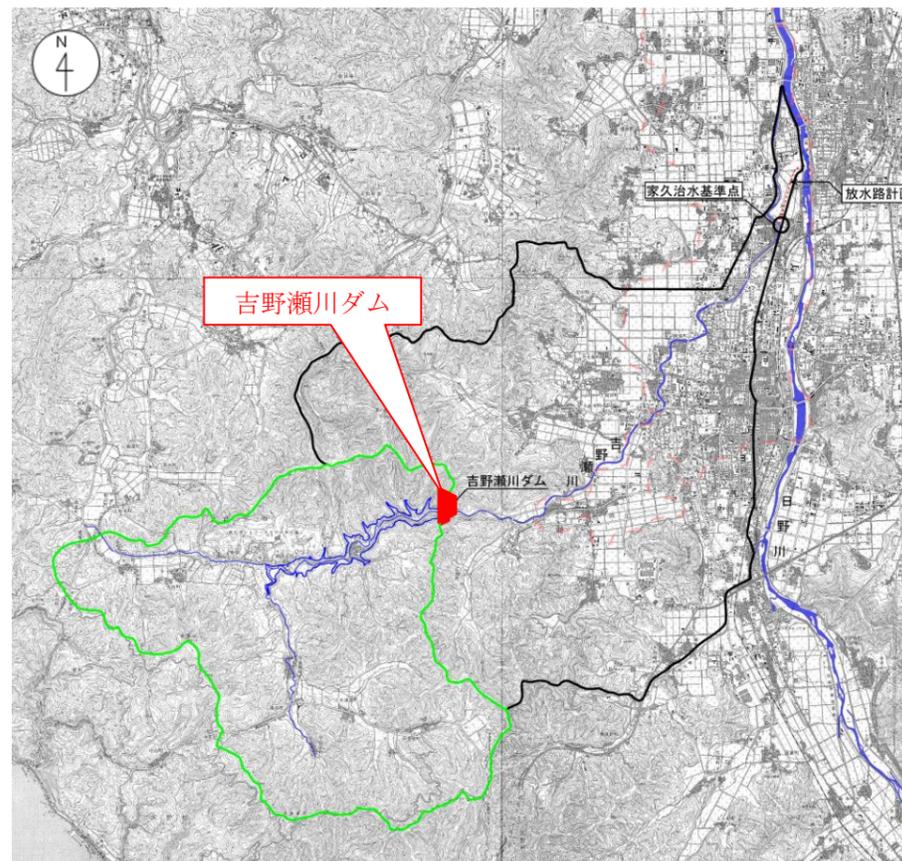


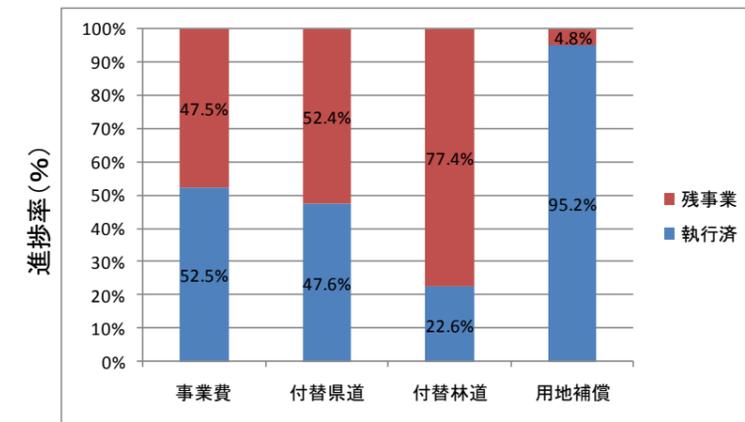
図-7 吉野瀬川ダム位置図

④吉野瀬川ダム事業の経緯・現在の進捗状況

吉野瀬川ダム事業の進捗状況（平成22年度末）は事業費率で52.5%である。

表-3 吉野瀬川ダム事業の経緯

年月	内容
昭和61年度	実施計画調査事業採択
平成3年度	多目的ダムとして建設事業採択（利水者：工業用水）
5年3月	吉野瀬川ダム全体計画認可
13年10月	付替道路着工
14年2月	補償基準（全体）の妥結調印式
18年2月	九頭竜川水系河川整備基本方針策定
19年2月	九頭竜川水系河川整備計画策定
19年3月	水没地内の小野地区、勝蓮花地区全37戸家屋移転完了
20年12月	福井県公共事業等評価委員会審議（結果：工水中止、治水継続）
21年8月	吉野瀬川ダム全体計画変更認可
21年8月	九頭竜川水系河川整備計画変更策定



	(億円)			
	事業費	付替県道	付替林道	用地補償
執行済	170.5	17.9	3.3	99.2
残事業	154.5	19.7	11.3	5.0
全体	325.0	37.6	14.6	104.2

図-8 吉野瀬川ダム事業の進捗率（平成22年度末）

3. 吉野瀬川ダム事業の点検の結果

①総事業費及び工程

吉野瀬川ダム事業の総事業費は325億円である。点検にあたっては、平成21年8月に策定した全体計画について最新の数量および単価により点検を行った。その結果、現計画と同程度であり、現在の総事業費325億円を変更する必要はないことを確認した。

なお、以降の検討では、残事業費154.5億円を使用した。

(*154.5億円については、表-4の残事業費合計額15,443,000千円を丸めている。)

表-4 吉野瀬川ダム建設事業費点検結果

(単位:千円)

費目	計画 ①	既往実績 ②	残事業費 ①-②	残事業費 点検結果 ③	計画点検結果 ④=②+③	増減 ④-①
ダム費	9,513,000	630,000	8,883,000	10,189,000	10,819,000	1,306,000
付替道路費	6,798,000	2,130,000	4,668,000	3,087,000	5,217,000	▲ 1,581,000
測量試験費	4,755,000	3,626,000	1,129,000	1,259,000	4,885,000	130,000
用地補償費	10,372,000	9,929,000	443,000	491,000	10,420,000	48,000
営繕費等	1,062,000	742,000	320,000	336,000	1,078,000	16,000
合計	32,500,000	17,057,000	15,443,000	15,362,000	32,419,000	▲ 81,000

工程の点検にあたっては、最新の数量や施工計画、近年施工の他ダムの事例等を参考に行った結果、検証終了後9年後に完成見込みとなる。

項目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
転流工				■					
ダム本体	基礎掘削			■	■	■	■		
	コンクリート打設					■	■		
	基礎処理					■	■		
管理設備							■	■	
試験湛水									■
付替道路工	■	■	■	■	■				

図-9 吉野瀬川ダム建設事業工程点検結果

②堆砂計画

吉野瀬川ダムの堆砂計画量 1,000,000m³ は、近傍類似ダムの実績堆砂量から計画比堆砂量400m³/km²/年として設定している。点検では近傍類似ダムの平成21年度までの実績堆砂量データを追加し点検を行った。結果、計画比堆砂量の変更の必要はないと判断している。

③計画雨量

吉野瀬川ダムの治水計画は、明治30年から昭和58年までの降雨データを確率処理して降雨継続時間内雨量(24時間)は、整備計画規模(年超過確率1/30)で確率降雨量166mm/日と設定している。点検では昭和59年から平成21年の雨量データを追加して現計画の確率降雨量の点検を行った結果、現計画と同程度であり、確率降雨量を変更する必要はないと判断している。

表-5 計画雨量の点検結果

	現計画	3手法による結果
現計画	明治30年～昭和58年	166mm/日
今回点検	明治30年～平成21年	156.9～176.3mm/日

④利水容量(流水の正常な機能の維持)

吉野瀬川ダムの利水計画は、昭和29年から58年までの30年間のデータによる利水計算を行い、安全度が1/10を確保される110万m³と設定している。

点検では、昭和59年から平成21年のデータを追加して利水計算を行ったところ、計画基準年である昭和57年は変更する必要がなく、不特定容量を変更する必要はないと判断している。

4. 目的別対策案の立案の考え方とそれぞれの対策案の概要

①治水対策案

①-1 治水対策案の立案・抽出

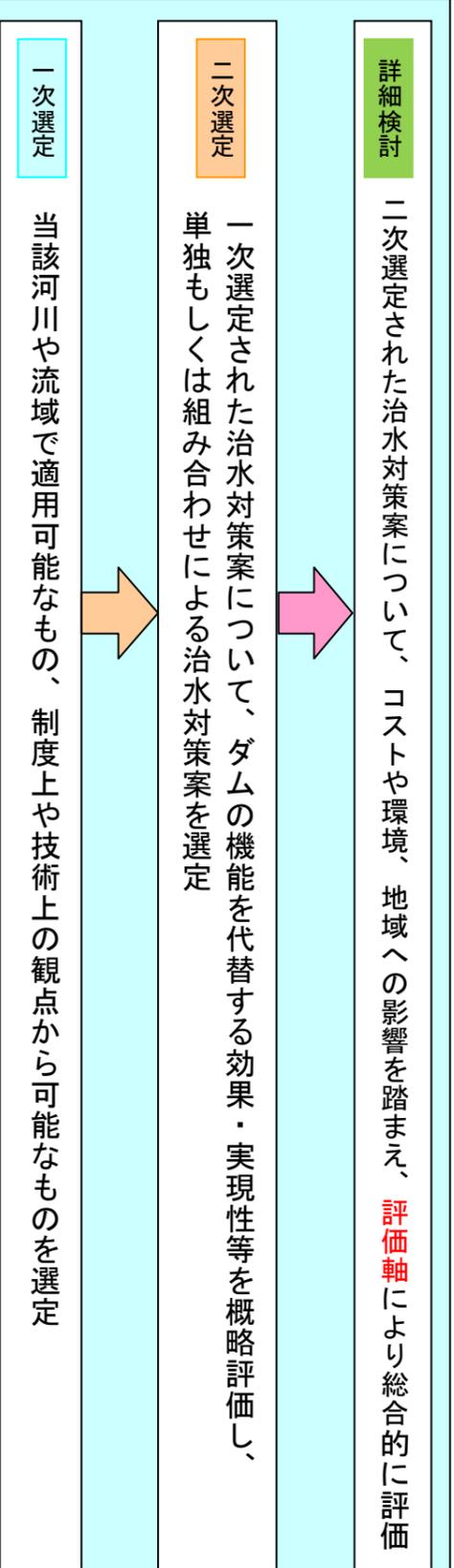
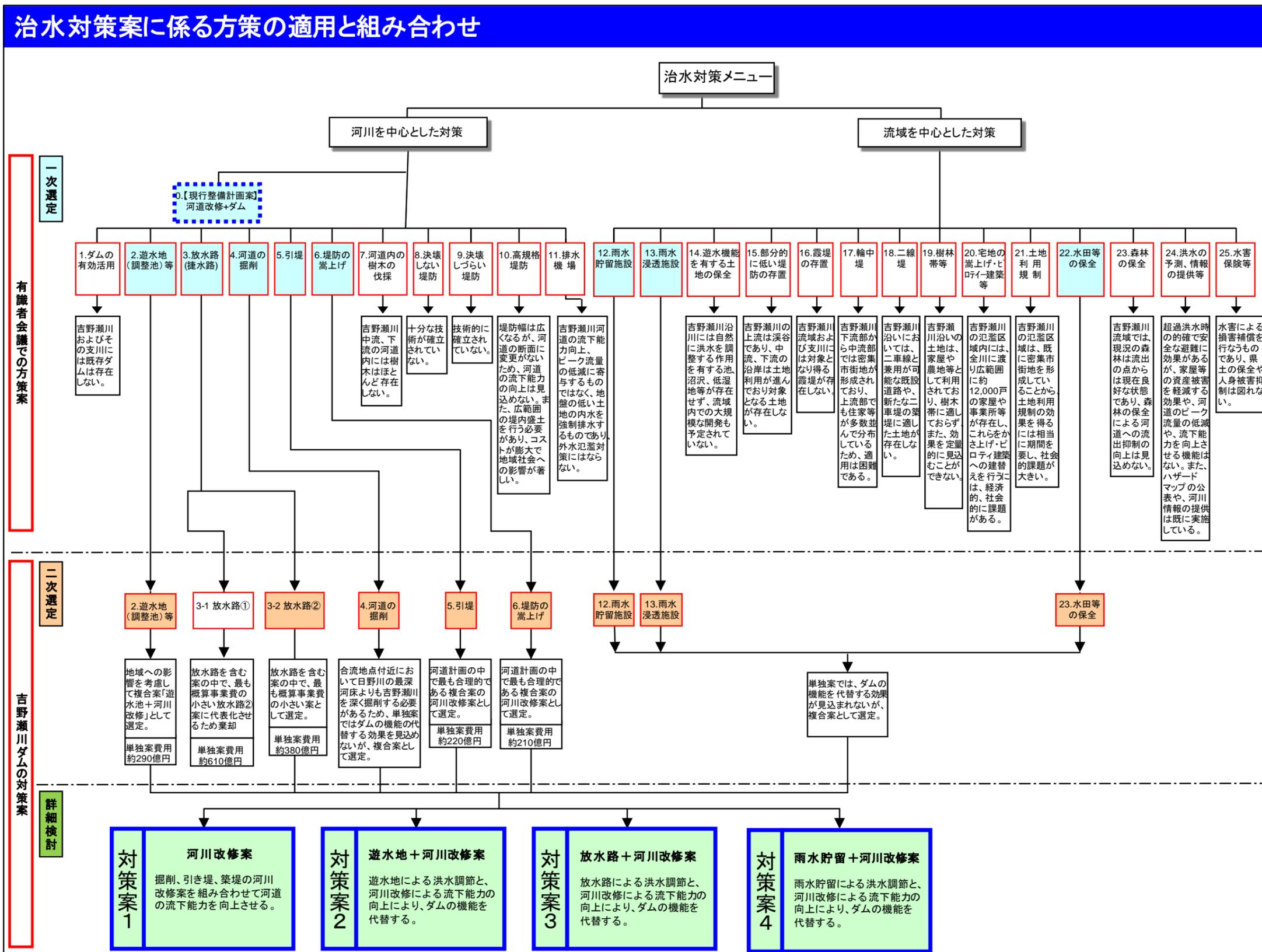


図-10 治水対策案選定フロー

①-2 抽出した対策案の概要

案	現行計画案：ダム＋河川改修案	対策案1：河川改修案	対策案2：遊水地＋河川改修案																																																																																																								
概要	吉野瀬川ダムによる洪水調節と河川改修による流下能力の向上	掘削、引き堤、築堤の河川改修案を組み合わせることで河道の流下能力を向上させる。	遊水地による洪水調節と、河川改修による流下能力の向上により、ダムの機能を代替する。																																																																																																								
流量配分																																																																																																											
完成までに要する費用	<ul style="list-style-type: none"> 吉野瀬川ダム 110.8億円 (ダム残事業費154.5億円×治水の割合71.7%) 河川改修 100.1億円 <table border="1"> <caption>[内訳] (単位:億円)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">河川改修</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土工</td> <td>掘削 10.1万m³ 盛土 6.8万m³</td> <td>53.6</td> </tr> <tr> <td>護岸工</td> <td>3.6万m²</td> <td>17.7</td> </tr> <tr> <td>橋梁</td> <td>4橋</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>用地</td> <td>0.9ha</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>補償</td> <td>27件</td> <td>10.5</td> </tr> <tr> <td>測量試験費等</td> <td>1式</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>100.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>合計 210.9億円</p>	項目	河川改修		数量	金額	土工	掘削 10.1万m ³ 盛土 6.8万m ³	53.6	護岸工	3.6万m ²	17.7	橋梁	4橋	6.0	用地	0.9ha	4.8	補償	27件	10.5	測量試験費等	1式	7.5	合計		100.1	<ul style="list-style-type: none"> 河川改修 294.3億円 <table border="1"> <caption>[内訳] (単位:億円)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">河川改修</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土工</td> <td>掘削 29.9万m³ 盛土 9.1万m³</td> <td>131.2</td> </tr> <tr> <td>護岸工</td> <td>12.2万m²</td> <td>62.8</td> </tr> <tr> <td>橋梁</td> <td>24橋</td> <td>29.6</td> </tr> <tr> <td>堰等</td> <td>5箇所</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>用地</td> <td>7.8ha</td> <td>25.2</td> </tr> <tr> <td>補償</td> <td>60件</td> <td>20.7</td> </tr> <tr> <td>測量試験費等</td> <td>1式</td> <td>22.1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>294.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>合計 294.3億円</p>	項目	河川改修		数量	金額	土工	掘削 29.9万m ³ 盛土 9.1万m ³	131.2	護岸工	12.2万m ²	62.8	橋梁	24橋	29.6	堰等	5箇所	2.7	用地	7.8ha	25.2	補償	60件	20.7	測量試験費等	1式	22.1	合計		294.3	<ul style="list-style-type: none"> 遊水地 176.9億円 河川改修 214.0億円 <table border="1"> <caption>[内訳] (単位:億円)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">遊水地</th> <th colspan="2">河川改修</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>金額</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土工</td> <td>掘削 103.2万m³ 盛土 5.7万m³</td> <td>74.8</td> <td>掘削 25.3万m³ 盛土 10.6万m³</td> <td>102.9</td> </tr> <tr> <td>護岸工</td> <td>1980m³</td> <td>1.6</td> <td>5.8万m²</td> <td>31.0</td> </tr> <tr> <td>橋梁</td> <td>1式</td> <td>6.0</td> <td>24橋</td> <td>23.9</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td>29ha</td> <td>81.2</td> <td>堰等 5箇所</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>排水樋門、減勢</td> <td>1式</td> <td>6.0</td> <td>用地 7.2ha</td> <td>22.6</td> </tr> <tr> <td>用地</td> <td>29ha</td> <td>81.2</td> <td>補償 31件</td> <td>14.9</td> </tr> <tr> <td>測量試験費等</td> <td>1式</td> <td>13.3</td> <td>測量試験費等 1式</td> <td>16.1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>176.9</td> <td>合計</td> <td>214.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>合計 390.9億円</p>	項目	遊水地		河川改修		数量	金額	数量	金額	土工	掘削 103.2万m ³ 盛土 5.7万m ³	74.8	掘削 25.3万m ³ 盛土 10.6万m ³	102.9	護岸工	1980m ³	1.6	5.8万m ²	31.0	橋梁	1式	6.0	24橋	23.9	コンクリート	29ha	81.2	堰等 5箇所	2.7	排水樋門、減勢	1式	6.0	用地 7.2ha	22.6	用地	29ha	81.2	補償 31件	14.9	測量試験費等	1式	13.3	測量試験費等 1式	16.1	合計		176.9	合計	214.0
項目	河川改修																																																																																																										
	数量	金額																																																																																																									
土工	掘削 10.1万m ³ 盛土 6.8万m ³	53.6																																																																																																									
護岸工	3.6万m ²	17.7																																																																																																									
橋梁	4橋	6.0																																																																																																									
用地	0.9ha	4.8																																																																																																									
補償	27件	10.5																																																																																																									
測量試験費等	1式	7.5																																																																																																									
合計		100.1																																																																																																									
項目	河川改修																																																																																																										
	数量	金額																																																																																																									
土工	掘削 29.9万m ³ 盛土 9.1万m ³	131.2																																																																																																									
護岸工	12.2万m ²	62.8																																																																																																									
橋梁	24橋	29.6																																																																																																									
堰等	5箇所	2.7																																																																																																									
用地	7.8ha	25.2																																																																																																									
補償	60件	20.7																																																																																																									
測量試験費等	1式	22.1																																																																																																									
合計		294.3																																																																																																									
項目	遊水地		河川改修																																																																																																								
	数量	金額	数量	金額																																																																																																							
土工	掘削 103.2万m ³ 盛土 5.7万m ³	74.8	掘削 25.3万m ³ 盛土 10.6万m ³	102.9																																																																																																							
護岸工	1980m ³	1.6	5.8万m ²	31.0																																																																																																							
橋梁	1式	6.0	24橋	23.9																																																																																																							
コンクリート	29ha	81.2	堰等 5箇所	2.7																																																																																																							
排水樋門、減勢	1式	6.0	用地 7.2ha	22.6																																																																																																							
用地	29ha	81.2	補償 31件	14.9																																																																																																							
測量試験費等	1式	13.3	測量試験費等 1式	16.1																																																																																																							
合計		176.9	合計	214.0																																																																																																							
案	対策案3：放水路＋河川改修案	対策案4：雨水貯留＋河川改修案																																																																																																									
概要	放水路による洪水調節と、河川改修による流下能力の向上により、ダムの機能を代替する。	雨水貯留による洪水調節と、河川改修による流下能力の向上により、ダムの機能を代替する。																																																																																																									
流量配分																																																																																																											
完成までに要する費用	<ul style="list-style-type: none"> 放水路 383.9億円 河川改修 100.1億円 <table border="1"> <caption>[内訳] (単位:億円)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">放水路</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放水路</td> <td>6400m</td> <td>239.2</td> </tr> <tr> <td>橋梁</td> <td>41橋</td> <td>72.5</td> </tr> <tr> <td>用地</td> <td>6.4ha</td> <td>17.9</td> </tr> <tr> <td>補償</td> <td>90件</td> <td>35.6</td> </tr> <tr> <td>測量試験費等</td> <td>1式</td> <td>18.7</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>383.9</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>[内訳] (単位:億円)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">河川改修</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土工</td> <td>掘削 10.1万m³ 盛土 6.8万m³</td> <td>53.6</td> </tr> <tr> <td>護岸工</td> <td>3.6万m²</td> <td>17.7</td> </tr> <tr> <td>橋梁</td> <td>4橋</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>用地</td> <td>0.9ha</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>補償</td> <td>27件</td> <td>10.5</td> </tr> <tr> <td>測量試験費等</td> <td>1式</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>100.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>合計 484.0億円</p>	項目	放水路		数量	金額	放水路	6400m	239.2	橋梁	41橋	72.5	用地	6.4ha	17.9	補償	90件	35.6	測量試験費等	1式	18.7	合計		383.9	項目	河川改修		数量	金額	土工	掘削 10.1万m ³ 盛土 6.8万m ³	53.6	護岸工	3.6万m ²	17.7	橋梁	4橋	6.0	用地	0.9ha	4.8	補償	27件	10.5	測量試験費等	1式	7.5	合計		100.1	<ul style="list-style-type: none"> 雨水貯留 3.7億円 河川改修 293.8億円 <table border="1"> <caption>[内訳] (単位:億円)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">雨水貯留</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校グラウンド</td> <td>7箇所</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>公園</td> <td>2箇所</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>水田</td> <td>1800箇所</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>3.7</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>[内訳] (単位:億円)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">河川改修</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土工</td> <td>掘削 29.9万m³ 盛土 9.1万m³</td> <td>130.8</td> </tr> <tr> <td>護岸工</td> <td>12.2万m²</td> <td>62.8</td> </tr> <tr> <td>橋梁</td> <td>24橋</td> <td>29.6</td> </tr> <tr> <td>堰等</td> <td>5箇所</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>用地</td> <td>7.8ha</td> <td>25.2</td> </tr> <tr> <td>補償</td> <td>35件</td> <td>20.7</td> </tr> <tr> <td>測量試験費等</td> <td>1式</td> <td>22.1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>293.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>合計 297.5億円</p>	項目	雨水貯留		数量	金額	学校グラウンド	7箇所	2.1	公園	2箇所	0.7	水田	1800箇所	0.9	合計		3.7	項目	河川改修		数量	金額	土工	掘削 29.9万m ³ 盛土 9.1万m ³	130.8	護岸工	12.2万m ²	62.8	橋梁	24橋	29.6	堰等	5箇所	2.6	用地	7.8ha	25.2	補償	35件	20.7	測量試験費等	1式	22.1	合計		293.8										
項目	放水路																																																																																																										
	数量	金額																																																																																																									
放水路	6400m	239.2																																																																																																									
橋梁	41橋	72.5																																																																																																									
用地	6.4ha	17.9																																																																																																									
補償	90件	35.6																																																																																																									
測量試験費等	1式	18.7																																																																																																									
合計		383.9																																																																																																									
項目	河川改修																																																																																																										
	数量	金額																																																																																																									
土工	掘削 10.1万m ³ 盛土 6.8万m ³	53.6																																																																																																									
護岸工	3.6万m ²	17.7																																																																																																									
橋梁	4橋	6.0																																																																																																									
用地	0.9ha	4.8																																																																																																									
補償	27件	10.5																																																																																																									
測量試験費等	1式	7.5																																																																																																									
合計		100.1																																																																																																									
項目	雨水貯留																																																																																																										
	数量	金額																																																																																																									
学校グラウンド	7箇所	2.1																																																																																																									
公園	2箇所	0.7																																																																																																									
水田	1800箇所	0.9																																																																																																									
合計		3.7																																																																																																									
項目	河川改修																																																																																																										
	数量	金額																																																																																																									
土工	掘削 29.9万m ³ 盛土 9.1万m ³	130.8																																																																																																									
護岸工	12.2万m ²	62.8																																																																																																									
橋梁	24橋	29.6																																																																																																									
堰等	5箇所	2.6																																																																																																									
用地	7.8ha	25.2																																																																																																									
補償	35件	20.7																																																																																																									
測量試験費等	1式	22.1																																																																																																									
合計		293.8																																																																																																									

①-3 治水対策案の総合評価

評価軸	評価の考え方	現行計画案：ダム＋河川改修案	対策案1：河川改修案	対策案2：遊水地＋河川改修案	対策案3：放水路＋河川改修案	対策案4：雨水貯留＋河川改修案
①安全度	河川整備計画レベルの目標に対し安全を確保できるか	・河川整備計画と同程度の安全を確保できる。	・河川整備計画と同程度の安全を確保できる。	・河川整備計画と同程度の安全を確保できる。	・河川整備計画と同程度の安全を確保できる。	・河川整備計画と同程度の安全を確保できる。
	目標を上回る洪水等が発生した場合にどのような状態となるか	・ダムは全体計画規模の1/70の洪水まで機能する。	・目標規模の1/30を上回る洪水への効果は期待できない。	・目標規模の1/30を上回る洪水への効果は期待できない。	・目標規模の1/30を上回る洪水への効果は期待できない。	・目標を上回る洪水への効果は期待できない。
	段階的にどのように安全度が確保されていくのか	・ダムは完成するまで効果を発現しない。	・完成した区間から順次効果を発現するが、新たに橋梁架替20橋、支障家屋22戸、用地買収0.9ha等が生じ、これに伴う時間を要する。	・遊水地は完成するまで効果を発現せず、河川改修も含めて新たに橋梁架替20橋、支障家屋6戸、用地買収29.3ha等に伴う時間を要する。	・放水路は完成するまで効果を発現せず、河川改修も含めて新たに橋梁架替15橋、支障家屋79戸、用地買収14.7ha等に伴う時間を要する。	・雨水貯留施設は地元理解・協力を長期間を要する。河川改修は完成した区間から順次効果を発現するが、新たに橋梁架替20橋、支障家屋22戸、用地買収0.9ha等に伴う時間を要する。
	どの範囲でどのような効果が確保されていくのか	・ダム下流において、河道のピーク流量を低減させる。	・実施場所付近で、河道の流下能力を向上させる。	・遊水地下流において、河道のピーク流量を低減させる。	・放水路は、分岐地点下流において河道のピーク流量を低減させる。	・雨水貯留施設設置箇所の下流において河道のピーク流量を低減させる。
②コスト	完成するまでに要する費用はどのくらいか	【ダム】110.8億円（治水分残事業費） 【ダム以外の整備計画メニュー】100.1億円（計）210.9億円	【ダムの代替案】194.2億円（河川改修） 【ダム以外の整備計画メニュー】100.1億円（計）294.3億円	【ダムの代替案】176.9億円（遊水地）、113.9億円（河川改修） 【ダム以外の整備計画メニュー】100.1億円（計）390.9億円	【ダムの代替案】383.9億円（放水路） 【ダム以外の整備計画メニュー】100.1億円（計）484.0億円	【ダムの代替案】3.7億円（雨水貯留施設）、193.7億円（河川改修） 【ダム以外の整備計画メニュー】100.1億円（計）297.5億円
	維持管理に要する費用はどのくらいか（50年間分）	【ダム】26.9億円（常時監視など） 【河川】2.5億円（草刈、浚渫など）（計）29.4億円	【河川】2.5億円（草刈、浚渫など）（計）2.5億円	【遊水地】2.1億円（草刈、監視など） 【河川】2.5億円（草刈、浚渫など）（計）4.6億円	【放水路】1.1億円（常時監視など） 【河川】2.5億円（草刈、浚渫など）（計）3.6億円	【雨水貯留】－ 【河川】2.5億円（草刈、浚渫など）（計）2.5億円
	ダム中止に伴って発生する費用はどれくらいか	・なし	（横坑閉塞、ダム建設事務所撤去など）0.6億円	（横坑閉塞、ダム建設事務所撤去など）0.6億円	（横坑閉塞、ダム建設事務所撤去など）0.6億円	（横坑閉塞、ダム建設事務所撤去など）0.6億円
	合計	240.3億円	297.4億円	396.1億円	488.2億円	300.6億円
③実現性	土地所有者等の協力の見通しはどうか	・ダムでは用地補償進捗率が95%、家屋移転が完了しており、実現が確実である。	・新たな支障家屋22戸、用地補償0.9haにより、相当な困難がある。	・新たな支障家屋6戸、用地補償29.3haにより、相当な困難がある。	・新たな支障家屋79戸、用地補償14.7haにより、相当な困難がある。	・雨水貯留施設は、地元の理解・協力を得ることは困難であり、また、新たな支障家屋22戸、用地補償0.9haにより、相当な困難がある。
	その他の関係者との調整の見通しはどうか	・内水面漁業との調整が必要。	・内水面漁業関係者、土地改良区、橋梁架替に伴う道路管理者および水道管理者、埋蔵文化財包蔵地の近接工事となることに伴う教育委員会など、新たな調整に時間を要する可能性がある。	・土地改良区、遊水地内道路の構造変更に伴う道路管理者および水道管理者、埋蔵文化財包蔵地の近接工事となることに伴う教育委員会など、新たな調整に時間を要する可能性がある。	・土地改良区、日野川管理者、橋梁新設に伴う鉄道、道路、水道の各管理者、埋蔵文化財包蔵地の近接工事となることに伴う教育委員会など、新たな調整に時間を要する可能性がある。	・土地改良区、日野川管理者、橋梁架替に伴う道路管理者および水道管理者、埋蔵文化財包蔵地の近接工事となることに伴う教育委員会など、新たな調整に時間を要する可能性がある。
	法制度上の観点から実現性が見通しはどうか	・現行法制度内で対応可	・現行法制度内で対応可	・現行法制度内で対応可	・現行法制度内で対応可	・現行法制度内で基本的に対応可能であるが、何らかの法制度での対応が必要である。
	技術上の観点から実現性が見通しはどうか	・現行技術水準で対応可。	・現行技術水準で対応可。	・現行技術水準で対応可。	・現行技術水準で対応可。	・現行技術水準で対応可。
④持続性	将来にわたって持続可能といえるか	・適切な維持管理により持続可能。	・適切な維持管理により持続可能。	・適切な維持管理により持続可能。	・適切な維持管理により持続可能。	・適切な維持管理により持続可能。
⑤柔軟性	地球温暖化に伴う気候変化や社会環境の変化など、将来の不確実性に対する柔軟性はどうか	・ダムでは貯水池の掘削による容量の増加や操作規則の変更、容量配分の見直しなど、用地補償が不要で柔軟に対応可能である。	・新たな河川改修は、橋梁・取水堰・護岸等の施設の付替や用地買収、家屋補償が必要となり、柔軟に対応することは容易ではない。	・遊水地は掘り下げること、排水方法の変更が必要になるものの、容量が増加でき、用地補償が不要で柔軟に対応可能である。	・放水路の改修は、橋梁・取水堰・護岸等の施設の付替や用地買収、家屋補償が必要となり、柔軟に対応することは容易ではない。	・雨水貯留施設については柔軟な対応が可能であるが、新たな河川改修は、橋梁・取水堰・護岸等の施設の付替や用地買収、家屋補償が必要となり、柔軟に対応することは容易ではない。
⑥地域社会への影響	事業地及びその周辺への影響はどの程度か	・ダムによる用地買収、家屋補償が概ね完了しており、新たに大きな影響は生じない。	・新たな支障家屋22戸、用地補償0.9haにより影響が生じる。	・29haの農地を遊水地化することによる農業収益減少等の影響が生じる。また、河川改修に伴う新たな支障家屋6戸、用地買収0.3haにより影響が生じる。	・放水路により住宅密集地域が分断され、新たな支障家屋79戸、用地買収14.7haにより影響が生じる。	・雨水貯留施設等については、農業収益減収などの影響が生じる可能性がある。また、河川改修に伴う新たな支障家屋22戸、用地買収0.9haにより影響が生じる。
	地域振興に対してどのような効果があるか	・貯水池が新たに形成されることで、観光客の増加などの地域振興への効果をもたらす可能性がある。	・親水性の機能を付加する等の設計の創意工夫を行うことにより、地域振興に寄与する可能性がある。	・親水性の機能を付加する等の設計の創意工夫を行うことにより、地域振興に寄与する可能性がある。	・親水性の機能を付加する等の設計の創意工夫を行うことにより、地域振興に寄与する可能性がある。	・親水性の機能を付加する等の設計の創意工夫を行うことにより、地域振興に寄与する可能性がある。
	地域間の利害の平衡への配慮がなされているか	・家屋移転が完了しており、新たな地域間の利害の平衡に係る課題は想定されない。	・河川改修は対策実施箇所と受益地が比較的接近していることから、地域間の利害の平衡に係る課題は想定されない。	・遊水地が位置する上流域で用地補償が発生し、受益を享受するのは下流域となることから、地域間で利害が異なる。	・放水路は受益地と異なる場所に新たな吐口ができることから、地域間で利害が異なる。	・受益を享受するのは雨水貯留を行う水田の下流域であるため、地域間で利害が異なる。
⑦環境への影響	水環境に対してどのような影響があるか	・選択取水設備の適切な運用等により影響を回避低減できると考えている。 ・洪水調節により水量の急激な変化が緩和される。 ・河川改修工事中に濁水が発生する。	・河川改修工事中に濁水が発生する。	・遊水地の洪水調節による水質への影響は小さい。 ・洪水調節により水量の急激な変化が緩和される。 ・河川改修工事中に濁水が発生する。	・洪水調節により水量の急激な変化が緩和される。 ・放水路吐口である若狭湾の水質への影響がある。 ・河川改修工事中に濁水が発生する。	・河川改修工事中に濁水が発生する。
	生物の多様性の確保及び流域の自然環境全体にどのような影響があるか	・ダムにより土地の改変面積89.8haが生じるが、これまでの付替道路工事で、専門家の意見を聞きながら希少な動植物のモニタリング、移植、ビオトープ設置を実施するなどの配慮により、影響の回避低減を行っている。	・新たに土地の改変面積0.9haが生じ、現川改修区間の延長が8.4kmと長く、魚類等の河川生物への影響を生じる可能性がある。	・遊水地により土地の改変面積29haが生じ、雑草や害虫等の発生により、住民の生活環境との調和が懸念される。また、河川改修では新たに土地の改変面積0.3haが生じ、現河川を改変するため、魚類等の河川生物への影響を生じる可能性がある。	・放水路により新たな土地の改変面積14.7haにより影響が生じる可能性がある。	・雨水貯留施設では大きな土地の改変がないため影響は小さいが、河川改修では新たに土地の改変面積0.9haが生じ、現川改修区間の延長が8.4kmと長く、魚類等の河川生物への影響を生じる可能性がある。
	土砂流動はどうか変化し、下流河川・海岸にどのように影響するか	・ダムで土砂を堰止めるため、ダム直下流では河床低下や粒度変化が生じることが予測されるが、床固工、堰等により河床低下は部分的である。また、本川の日野川、九頭竜川に対しては、相対的に吉野瀬川の流域が小さいため、影響は小さい。	・土砂をせき止めないため、影響はない。	・土砂をせき止めないため、影響はない。	・放水路への分水により影響を生じる可能性がある。	・土砂をせき止めないため、影響はない。
	景観、人と自然との豊かな触れ合いにどのような影響があるか	・景観資源に影響はなく、主要な眺望点からダムは視認されない。	・親水性の機能を付加する等の設計の創意工夫を行うことにより、景観や人と自然の触れ合いに寄与する可能性がある。	・親水性の機能を付加する等の設計の創意工夫を行うことにより、景観や人と自然の触れ合いに寄与する可能性がある。	・親水性の機能を付加する等の設計の創意工夫を行うことにより、景観や人と自然の触れ合いに寄与する可能性がある。	・親水性の機能を付加する等の設計の創意工夫を行うことにより、景観や人と自然の触れ合いに寄与する可能性がある。
治水対策案の総合評価		治水対策案としては安全度や時間的観点からみた実現性、地域社会への影響について他の案に比べて優位であり、かつコストが一番小さい「ダム＋河川改修案」が最も適当である。				

※太枠部は評価が優位なところを示す。

②流水の正常な機能の維持対策案の抽出
 ②-1 流水の正常な機能の維持対策案の抽出

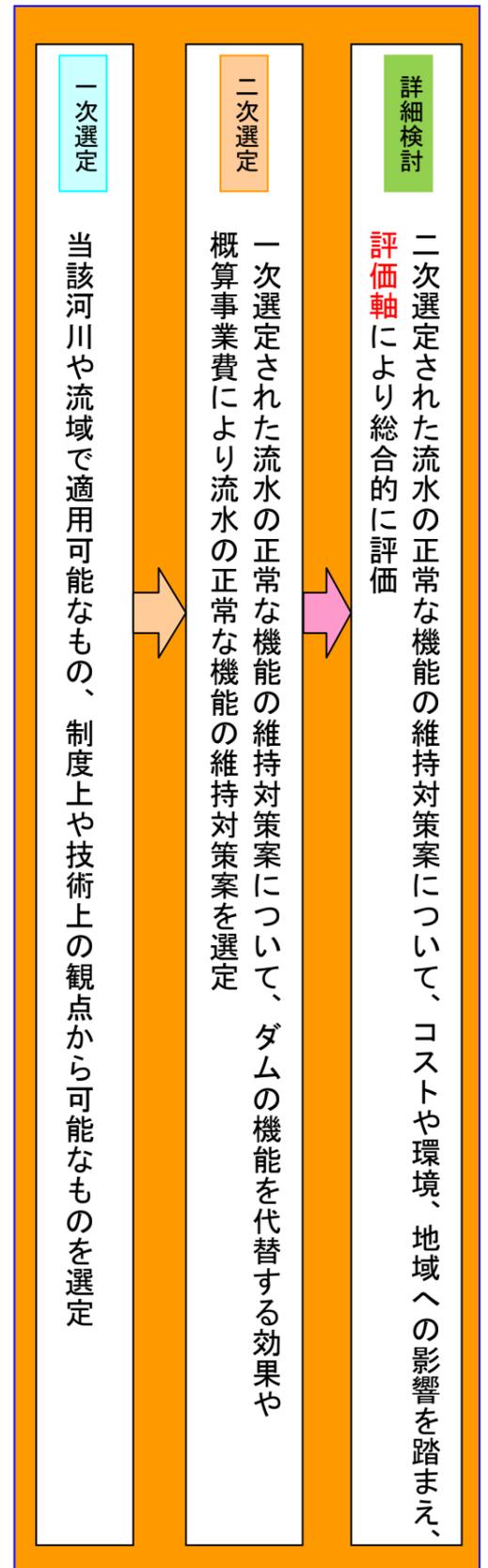
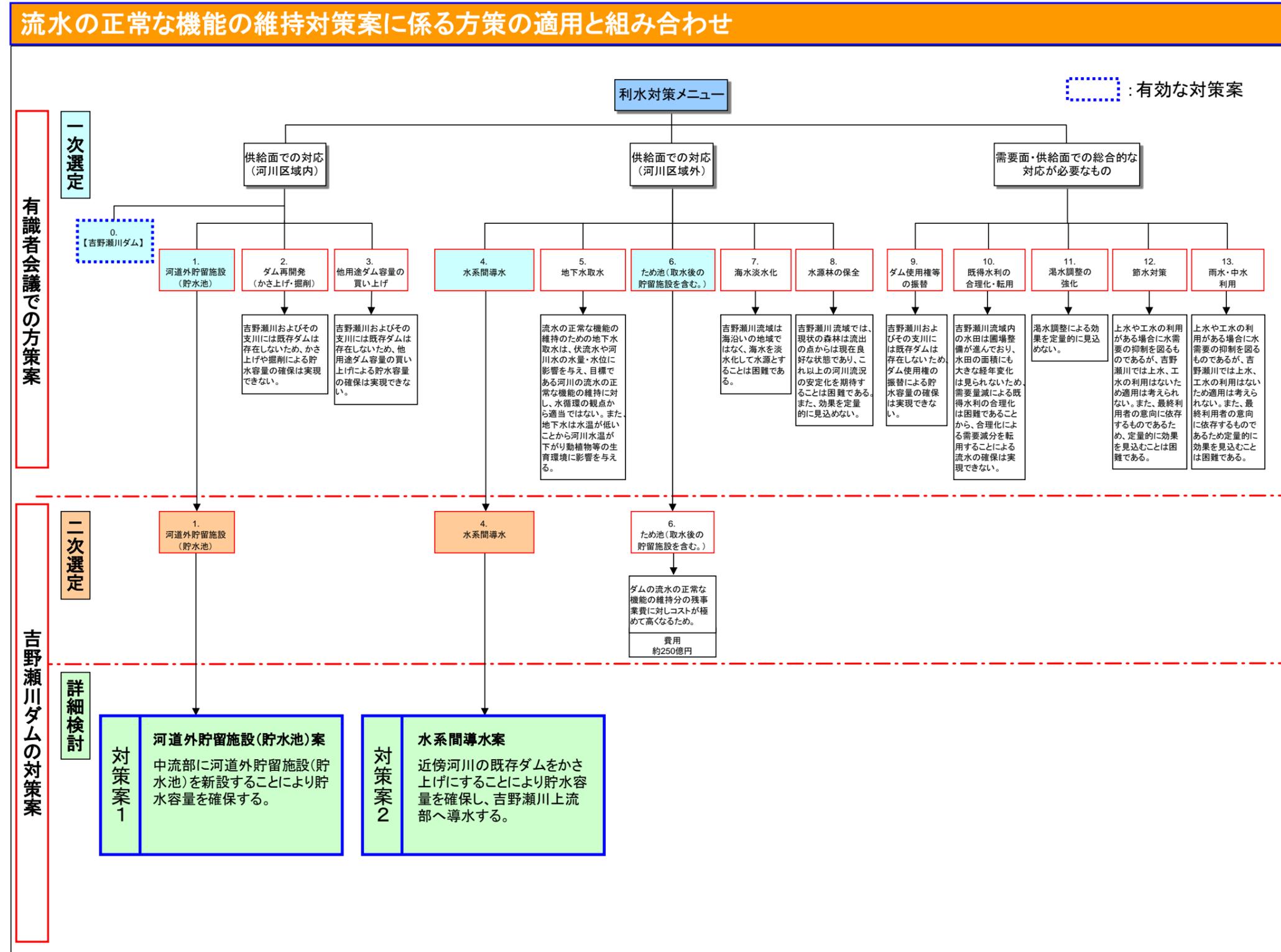
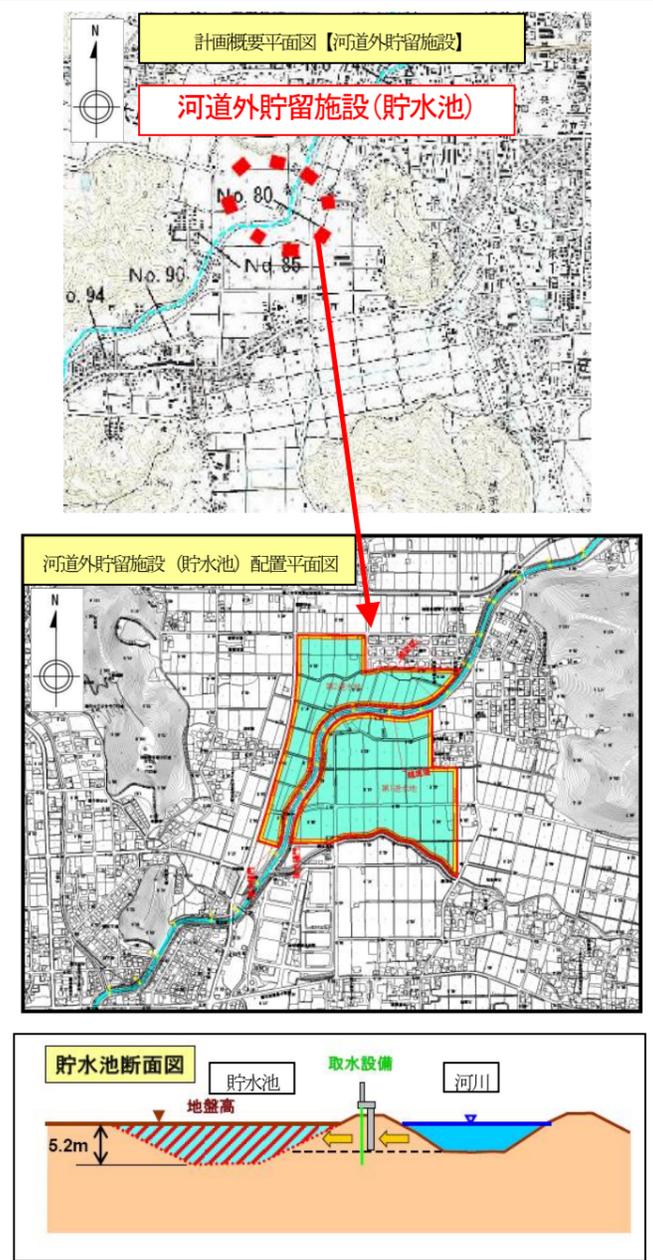
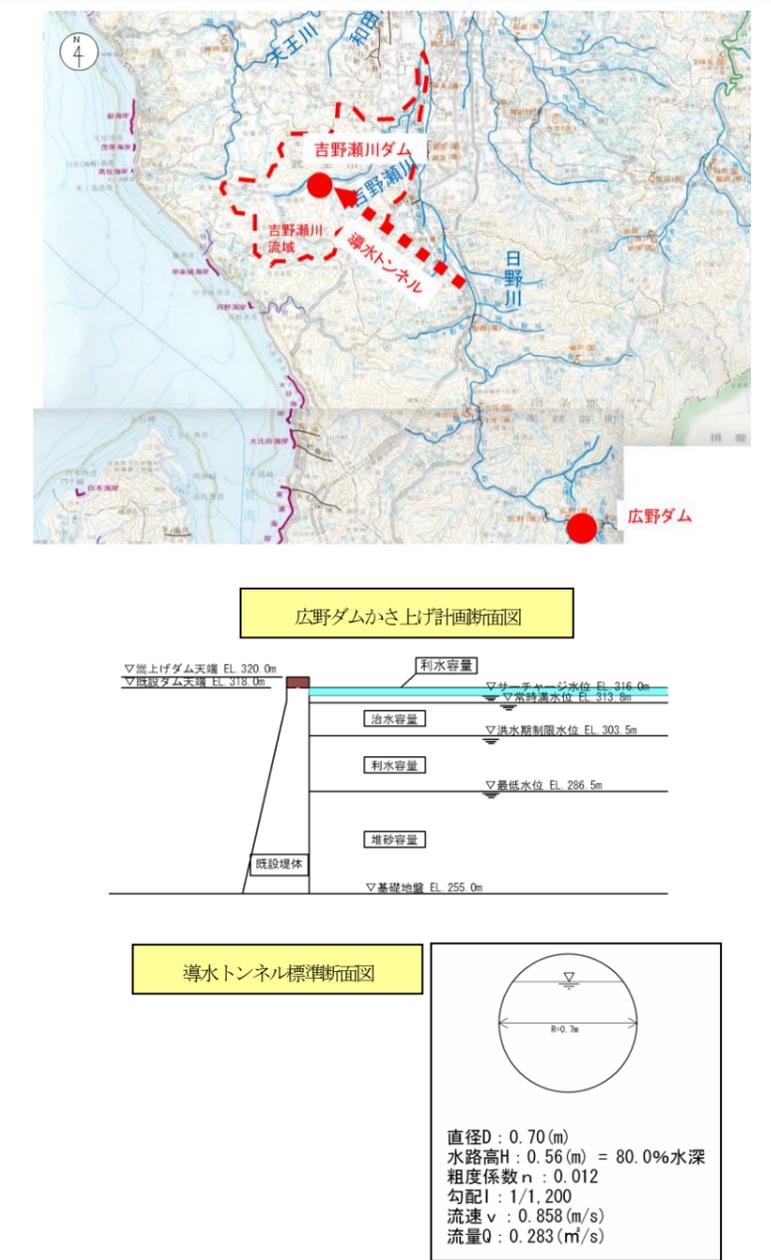


図-11 流水の正常な機能の維持対策案選定フロー

②-2 抽出した代替案の概要

案	現行計画案：ダム案	対策案1：河道外貯留施設（貯水池）案	対策案2：水系間導水案
概要	吉野瀬川ダムにより貯水容量を確保する。	中流部に河道外貯留施設（貯水池）を新設することにより貯水容量を確保する。	近傍河川の既存ダムをかさ上げすることにより貯水容量を確保し、吉野瀬川上流部へ導水する。
概要図			
整備メニュー	・ダム：1式（貯水容量110万 m^3 ）	・河道外貯留施設：1式（貯水容量110万 m^3 ）	・ <small>ひろの</small> 広野ダムかさ上げ（貯水量110万 m^3 ） ・導水トンネル 9.8km（ <small>なんじょう</small> 南越前町南条地点～越前市広瀬地点）
完成までに要する費用	・ダム 43.7億円（ダム残事業154.5億×流水の正常な機能の維持の割合28.3%） 合計 43.7億円	・貯水池 124.9億円 合計 124.9億円	・導水路 87.2億円 ・ <small>ひろの</small> 広野ダムかさ上げ 43.0億円 合計 130.2億円

②-3 抽出した流水の正常な機能対策案の総合評価

対策案	評価軸	現行計画案：ダム案	対策案1：河道外貯留施設（貯水池）案	対策案2：水系間導水案
①目標	その量を確保できるか	・10年に1回程度の渇水に対して、流水の正常な機能を維持することができる。貯水容量110万m ³ 。	・10年に1回程度の渇水に対して、流水の正常な機能を維持することができる。貯水容量110万m ³ 。	・10年に1回程度の渇水に対して、流水の正常な機能を維持することができる。貯水容量110万m ³ 。
	段階的にどのような効果が確保されていくのか	・ダムは完成するまで効果を発現しない。	・貯水池は完成するまで効果を発現できず、新たに用地補償21ha等を生じることにより時間を要する。	・導水路、広野ダムかさ上げは完成するまで効果を発現できず、新たに用地補償5.4haを生じることにより時間を要する。
	どの範囲でどのような効果が確保されていくのか	・ダム下流において、河川整備計画で目標としている正常流量の確保が可能である。	・貯水池から下流において、河川整備計画で目標としている正常流量の確保が可能である。	・導水路吐口から下流において、河川整備計画で目標としている正常流量の確保が可能である。
	どのような水質の用水が得られるか	・ダム供用後の水質については、選択取水設備の適切な運用等により影響を回避低減できる。	・貯水池の水深が浅く、水面が広くなり日照の影響が大きくなるため、富栄養化する可能性がある。	現在の広野ダム貯水と同等の水質が得られる。
②コスト	完成するまでに要する費用はどのくらいか	・43.7億円	・124.9億円	・87.2億円（導水路） ・43.0億円（広野ダムかさ上げ） <u>（計）130.2億円</u>
	維持管理に要する費用はどのくらいか（50年間分）	・10.6億円	・10.6億円	・9.5億円
	ダム中止に伴って発生する費用等はどれくらいか	なし	・0.2億円（横孔閉塞、ダム建設事務所撤去など）	・0.2億円（横孔閉塞、ダム建設事務所撤去など）
	合計	54.3億円	135.7億円	139.9億円
③実現性	土地所有者等の協力の見通しはどうか	・ダムでは用地補償進捗率が95%、家屋移転が完了しており、実現が確実である。	・新たに用地補償21haが発生し、ダム計画に代わる新たな計画であることから、地元の協力を得るには、相当の困難があると考えられる。	・新たに用地補償5.4haが発生し、ダム計画に代わる新たな計画かつ、他流域の受益のための計画であることから、地元の協力を得るには、相当の困難があると考えられる。
	関係する河川使用者の同意の見通しはどうか	・内水面漁業との調整が必要。	・水質への影響が考えられる内水面漁業関係者との新たな調整に時間を要する可能性がある。	・広野ダム共同事業者（越前市、鯖江市、北陸電力）、広野ダムおよび日野川に係る利水権者および内水面漁業関係者との新たな調整に時間を要する可能性がある。
	発電を目的として事業に参画している者への影響の程度はどうか	・吉野瀬川ダムには発電を目的として事業に参画している者はいない。	・吉野瀬川ダムには発電を目的として事業に参画している者はいない。	・吉野瀬川ダムには発電を目的として事業に参画している者はいない。
	その他の関係者との調整の見通しはどうか	・今後、特に調整すべき案件はない。	・付替道路に伴う道路管理者および水道管理者、土地改良区、埋蔵文化財包蔵地の近接工事となることに伴う教育委員会など、新たな調整に時間を要する可能性がある。	・導水トンネルにより影響が考えられる周辺の地下水利用者、地下埋設物の管理者など、新たな調整に時間を要する可能性がある。
	事業期間はどの程度必要か	・概ね10年程度で完成予定。	・新たに用地補償21ha等を生じ、用地補償等に必要時間を生じる。	・新たに用地補償5.4ha等を生じ、用地補償等に必要時間を生じる。
	制度上の観点から実現性が見通しはどうか	・現行法制度内で対応可。	・現行法制度内で対応可。	・現行法制度内で対応可。
④持続性	将来にわたって持続可能といえるか	・貯水池の堆砂や水質の観測が必要となるが、県としてダムの管理実績があることから適切な維持管理により持続可能である。	・貯水池の堆砂撤去や水質の観測、貯水池堤防の除草等が必要となるが、適切な維持管理により持続可能である。	・県として、導水トンネルおよびダムの管理実績があることから、適切な維持管理により持続可能である。
⑤地域社会への影響	事業地及びその周辺への影響はどの程度か	・ダムによる用地買収、家屋補償が概ね完了しており、新たに大きな影響は生じない。	・新たに21haの農地を貯水池とすることは、事業地周辺に農業収益減収などの影響が生じる。	・新たな用地補償5.4haにより影響が生じる。
	地域振興に対してどのような効果があるか	・貯水池がレクリエーション空間となり、地域振興に寄与する可能性がある。	・親水性の機能を付加する等の設計の創意工夫を行うことにより、地域振興に寄与する可能性がある。	・親水性の機能を付加する等の設計の創意工夫を行うことにより、地域振興に寄与する可能性がある。
	地域間の利害の衡平への配慮がなされているか	・ダムを建設する上流域において用地買収や家屋移転補償が発生し、受益を享受するのは下流域となるため、地域間の利害は異なるが、ダムによる家屋移転に対しては、地域内で集団移転に関する調整や移転地造成を行い、既に移転が完了しており、水源地対策としても林道の整備などの配慮を行っていることから、新たな地域間の利害の衡平に係る課題は想定されない。	・貯水池を建設する上流域において用地補償が発生し、受益を享受するのは下流域となることから、地域間で利害が異なる。	・日野川上流域と吉野瀬川上流域において用地買収が発生し、受益地は吉野瀬川流域の補給対象となる水田および導水路吐口下流の河道内となるため、地域間で利害が異なる。 ・日野川では、現在、かんがい、水道、工業、発電など、高度な水利用に加え、漁業も盛んに行われており、また日野川の流況が十分に良好とはいえないため、日野川と吉野瀬川の流域間で利水者間の調整が困難となり、流水の配分に対し利害が生じる可能性がある。
⑥環境への影響	水環境に対してどのような影響があるか	・ダム供用後の水質については、選択取水設備の適切な運用等により影響を回避低減できる。	・貯水池の水深が浅く、水面が広くなり日照の影響が大きくなるため、富栄養化する可能性があり、新たに調査検討する必要がある。	・日野川からの導水により、影響を生じる可能性がある。
	地下水位、地盤沈下や地下水の塩水化にどのような影響があるか	・地盤沈下、塩水化等への影響は予想されない。	・地盤沈下、塩水化等への影響は予想されない。	・地盤沈下、塩水化等への影響は予想されない。
	生物の多様性の確保及び流域の自然環境全体にどのような影響があるか	・ダムにより土地の改変面積89.8haが生じるが、これまでの付替道路工事で、専門家の意見を聞きながら希少な動植物のモニタリング、移植、ピオトープ設置を実施するなどの配慮により、影響の回避低減を行っている。	・貯水池により21haの土地の改変が生じ、掘削等により影響を生じる可能性がある。	・新たに5.4haの土地の改変が生じ、また、日野川からの導水により、影響を生じる可能性がある。
	土砂流動はどうか変化し、下流河川・海岸にどのように影響するか	・ダムで土砂を堰止めるため、ダム直下流では河床低下や粒度変化が生じることが予測されるが、床固工、堰等により河床低下は部分的である。また、本川の日野川、九頭竜川に対しては、相対的に吉野瀬川の流域が小さいため、影響は小さい。	・土砂をせき止めないため、影響はない。	・日野川からの導水により、影響を生じる可能性がある。
	景観、人と自然との豊かな触れ合いにどのような影響があるか	・景観資源に影響はなく、主要な眺望点からダムは視認されない。	・親水性の機能を付加する等の設計の創意工夫を行うことにより、景観や人と自然の触れ合いに寄与する可能性がある。	・親水性の機能を付加する等の設計の創意工夫を行うことにより、景観や人と自然の触れ合いに寄与する可能性がある。
	CO2排出負荷はどうか変わるか	・CO2の主な排出要因は、ダム建設によるものである。	・CO2の主な排出要因は、貯水池建設によるものである。	・CO2の主な排出要因は、導水路建設および広野ダムかさ上げによるものである。
流水の正常な機能の維持 対策案の総合評価		流水の正常な機能の維持の対策案としては時間的観点からみた実現性や地域社会への影響について他の案に比べて優位であり、かつコストが一番小さい「ダム案」が最も適当である。		

※太枠部は評価が優位なところを示す。

5. 吉野瀬川ダムの総合的な評価

治水、流水の正常な機能の維持のそれぞれの目的別の総合評価を行った結果、いずれの目的においても現行計画（治水：吉野瀬川ダム＋河川改修、流水の正常な機能の維持：吉野瀬川ダム）が最も優位であった。

6. 検討の場開催状況、パブコメ・意見聴取の実施状況、それぞれの概要

①吉野瀬川ダム事業の検証に係る検討の進め方

吉野瀬川ダム事業の検証の検討にあたっては、関係地方公共団体からなる検討の場として「吉野瀬川ダム検証 県・市検討会」を設置した。学識経験を有する者として、九頭竜川流域の状況や河川整備計画に精通している九頭竜川流域懇談会の委員で構成する「吉野瀬川ダム検証 九頭竜川流域懇談会」を開催するとともに、文書による意見聴取を行った。また、平成22年11月17日から吉野瀬川ダム検証に関する意見を随時募集し、越前市、鯖江市で住民説明会を開催するとともに、パブリックコメントを行い、広く県民の意見を募集した。また、関係利水者、関係地方公共団体の長からも文書による意見聴取を行い、福井県公共事業等評価委員会を開催した。

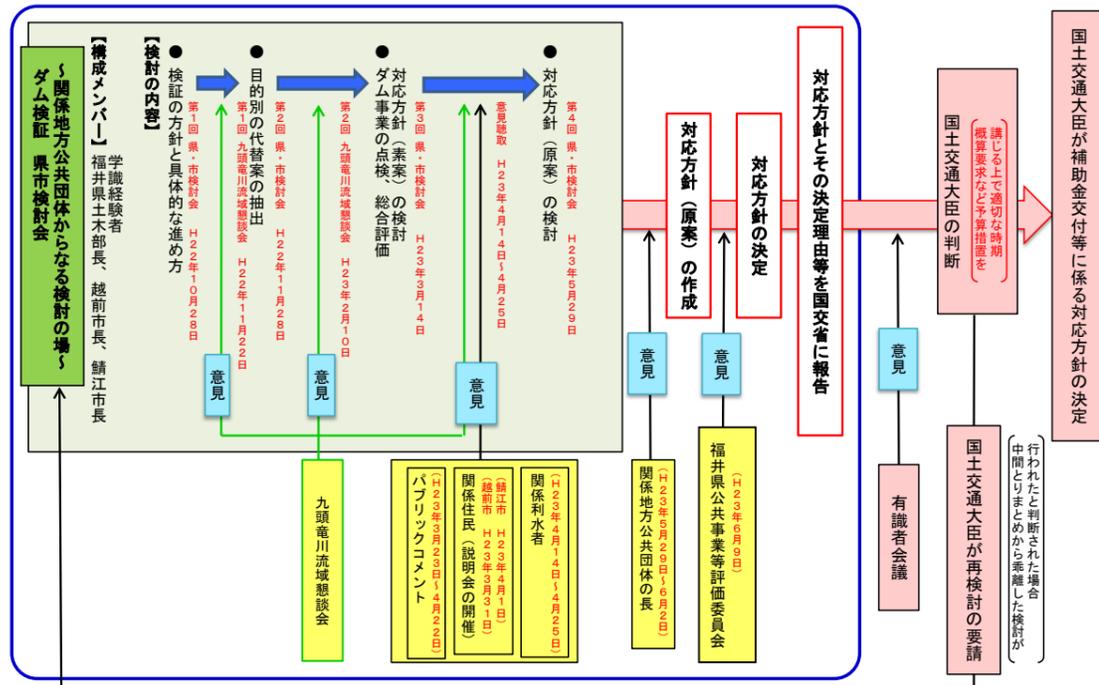


図-12 吉野瀬川ダム検証に係る検討の進め方

②関係地方公共団体からなる検討の場

「吉野瀬川ダム検証 県・市検討会」の開催日および構成員は次のとおりである。

表-6 「吉野瀬川ダム検証 県・市検討会」開催概要

回数	開催日	議事内容
第1回	平成22年10月28日	吉野瀬川流域および河川の概要、吉野瀬川ダムの概要、ダム検証の進め方
第2回	平成22年11月28日	治水対策案の抽出、流水の正常な機能の維持対策案の抽出
第3回	平成23年 3月14日	ダム事業点検結果、治水対策案検討、流水の正常な機能の維持対策案の検討、ダムの総合的な評価、対応方針（素案）
第4回	平成23年 5月29日	意見聴取結果、ダムの費用対効果、対応方針（原案）

表-7 「吉野瀬川ダム検証 県・市検討会」構成員

区分	職名	氏名	備考
構成員	越前市長	奈良 俊幸	
	鯖江市市長	牧野 百男	
	福井県土木部長	西山 幸治	第1回～第3回は近藤幸次
	京都大学名誉教授	池淵 周一	第2回から参加
	京都大学大学院教授	細田 尚	第2回から参加



写真-8 県・市検討会(第4回)

③パブリックコメント・住民説明会

住民説明会を平成23年3月31日（越前市）、4月1日（鯖江市）に開催するとともに、平成23年3月23日～4月22日にパブリックコメントを行い、広く県民の意見を募集した。

表-8 パブリックコメントの概要

- 【意見募集対象】
吉野瀬川ダム事業の検証に関する検討結果報告書（素案）
- 【意見募集期間】
平成23年3月23日～4月22日（1ヶ月間）
- 【意見の募集・提出方法】
・募集…ホームページ掲載、県政情報センターでの閲覧
・提出…郵送、FAX、電子メール
- 【意見提出件数】
・17件
- 【主な意見】
・吉野瀬川ダムの早期完成を望む
・難破堤化堤防を再検討すべき
・ダムは吉野瀬川流域における浸水被害解消に効果がなく、内水排除対策を優先実施すべき
・環境に配慮した事業の実施を望む
・地震によりダムが決壊した場合のハザードマップ作成及び住民への連絡体制について検討願う
・水力発電について検討願う

表-9 住民説明会の概要

- 【意見聴取内容】
吉野瀬川ダム事業の検証に係る検討の対応方針（素案）
- 【開催日時】
越前市：平成23年 3月31日（木）19:00～21:00
鯖江市：平成23年 4月 1日（金）19:00～21:00
- 【場所】
越前市：越前市健康福祉センター 4階多目的ホール
鯖江市：鯖江市豊公民館 2階第3会議室
- 【出席人数】
越前市：61名
鯖江市：43名 計104名
- 【主な意見】
・ダムの早期完成を望む
・ダムが完成するまでの連絡体制が必要
・今後、事業費が増えないことを願う

④学識経験を有する者への意見聴取

学識経験を有する者への意見聴取として、「吉野瀬川ダム検証 九頭竜川流域懇談会」を2回開催するとともに、吉野瀬川ダム事業検証に関する検討結果報告書（素案）について文書による意見聴取を行った。

表-10 学識経験を有する者への意見聴取の概要

- 【意見聴取内容】
吉野瀬川ダム事業検証に関する検討結果報告書（素案）
- 【意見聴取期間】
平成23年 4月14日～ 4月25日
- 【意見聴取・提出方法】
・聴取…文書
・提出…郵送、FAX、電子メール
- 【意見聴取先】
表-12のとおり
- 【主な意見】
・現計画（ダム＋河川改修）が最も適当との結果は妥当と考える
・ソフト対策により命が守られていることは、検証での安全度評価軸には表れないが大事な視軸
・東日本大震災のために今後莫大な費用が必要であり、コストを最小限に抑えた遊水地等を検討することも大切
・東日本大震災や福井豪雨をみると、ダムだけに頼らないリスク分散が必要
・住民の意見から自然災害に対する不安の高まりを感じる。今回の検証の結果から現計画（ダム＋河川改修）の継続はやむを得ない。

表-11 「吉野瀬川ダム検証 九頭竜川流域懇談会」委員

区分	役職	氏名	専門
委員	京都大学名誉教授	池淵 周一	治水（水循環）
	日本鳥類保護連盟 専門委員	上木 泰男	環境（鳥類）
	福井県立大学 経済学部長	岡 敏弘	環境（環境経済）
	福井工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授	奥村 充司	環境（都市環境）
	川上・野坂・安藤法律事務所	川上 賢正	人文（法律）
	福井県立大学 学術教養センター 教授	菊沢 正裕	利水（農業環境）
	元 福井市企業局 ガス工務課 課長	清水 賢涼	利水（上水道）
	農林業 元 美山町議会議長	清水 清一	地域活動
	京都大学 防災研究所 水資源環境研究センター 教授	角 哲也	治水（河川工学）
	日野川流域交流会事務局 環境文化研究所代表	田中 保士	人文（親水・交流、河川文化遺産）
	元 福井テレビ 解説委員	土山 弥一郎	人文（マスコミ）
	元 福井市子ども会育成連合会 理事	中廣 明子	人文（青少年教育）
	福井県土地改良事業団体連合会 専務理事	林 進	利水（農業水利）
	福井大学大学院 工学研究科 教授	福原 輝幸	治水（環境水理）
	部子川ダム対策委員会会長	藤田 武志	人文（地域活動）
	環境技術学会 副会長（社）淡水生物研究所 所長	森下 郁子	環境（河川環境）
	NPO法人 ドラゴンリバー交流会 理事	米村 輝子	環境（地域活動）
	元 福井県農林水産部 技幹（水産振興）	若林 健一	利水（内水面漁業）
元 福井市自然史博物館 館長	渡辺 定路	環境（植物）	

⑥福井県公共事業等評価委員会

検討の場や関係地方公共団体の長、学識経験を有する者、関係住民等の意見を踏まえて作成した対応方針（原案）について、福井県公共事業等評価委員会の意見を聴取した。

表-14 福井県公共事業等評価委員会の概要

①【説明内容】	対応方針（原案）
②【開催日】	平成23年 6月9日（木）
③【場所】	福井土木事務所 3階大会議室
④【委員会出席者】	福井県立大学海洋生物資源学部教授 加藤 辰夫 弁護士 北川稔 福井県立大学経済学部准教授 桑原 美香 JA福井県女性部フレッシュミズの部会部会長 後藤 麻理子 産婦人科鈴木クリニック副院長 鈴木 綾子 指導農業士、若狭町教育委員 瀬尾 佳彦 福井大学工学部建築建設工学科教授 福原 輝幸 福井商工会議所理事・事務局長 宮崎 和彦
⑤【主な意見】	・ダム案と遊水地案の維持管理費が同じなのは妥当なのか ・費用対効果については県民に分かりやすい言葉を使うべき ・費用便益比がH20評価時から変更となった理由は何か ・環境への影響を回避低減するための対策にかかるコストは計上されているのか
⑥【審議結果】	・継続

⑤関係利水者、関係地方公共団体の長への意見聴取

関係利水者への意見聴取として、吉野瀬川ダムでの河川利用者等に対し、吉野瀬川ダム事業の検証に係る検討の対応方針（素案）について、文書により意見聴取を行った。

関係地方公共団体の長については、パブリックコメントや住民説明会、学識経験を有する者、関係利水者の意見聴取結果を踏まえて取りまとめた「吉野瀬川ダム事業検証に関する検討結果報告書（原案）」について文書による意見聴取を行った。

表-12 関係利水者への意見聴取の概要

①【意見聴取内容】	吉野瀬川ダム事業の検証に係る検討の対応方針（素案）
②【意見聴取期間】	・平成23年 4月14日～ 4月25日
③【意見聴取・提出方法】	・聴取…文書 ・提出…郵送、FAX、電子メール
④【意見聴取先】	・日野川漁業協同組合長 ・吉野瀬川かんがい用水管理者
⑤【意見提出件数】	・6件
⑥【主な意見】	・ダムの早期完成を望む ・ダム建設に伴う内水面漁業への影響が懸念される

表-13 関係地方公共団体の長への意見聴取の概要

①【意見聴取内容】	吉野瀬川ダム事業検証に関する検討結果報告書（原案）
②【意見聴取期間】	平成23年 5月29日～ 6月2日
③【意見聴取先】	・越前市長 ・鯖江市長
④【主な意見】	○越前市長 吉野瀬川ダム事業を現行計画通り継続するという対応方針について異議はない。 水没地区の地権者には、用地の提供など、格別の協力とともに多大なる苦勞があり、また、下流域における住民は、長年にわたり洪水に対する不安に直面してきていることを県では重く受け止めてほしい。 吉野瀬川ダムの費用対効果は高いことが改めて確認されたことから県においては、「吉野瀬川ダムは必要」として、速やかに国へ検証結果の報告を行い、早期完成を目指して積極的な取り組みをお願いする。 ○鯖江市長 吉野瀬川ダム事業を現行計画どおり継続するという対応方針について異議はない。 今後、検証の結果を速やかに国に報告するとともに、吉野瀬川ダム事業の早期完成に向け積極的に取り組まれるようお願いする。

7. 対応方針

福井県では、「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」に基づき検討した結果、吉野瀬川ダム事業を現行計画通り継続するものとする。

（決定理由）

- ・治水、流水の正常な機能の維持の各目的別についてダムの代替案を幅広く検討し、複数の対策案を立案のうち、評価軸で評価した結果、目的別の総合評価のいずれも現行計画のダム案が最も適当であった。
- ・ダムの総合的な評価として、各目的別に算定された対策案の組合せと比較した結果、現行計画のダム案が最も優位であった。